

みどり

冬

No.159

実は

興味深い
生き物!

特集

実は興味深い生き物!

ヘビ特集

2025年の干支は「巳」(へび)年。
少し怖いイメージがあるへびですが、
知ってみると実は興味深い生き物なんです。
そこで今回は干支にちなんでへびについて
紹介していきます。

性格・習性

へびは実は臆病でおとなしく、非常に用心深い性格で、音や振動に敏感です。普段はとても落ち着いていて動作もゆっくりですが、危険を感じると素早く逃げたり、身を隠したりします。よほどのことがない限り威嚇や攻撃をしてくることはありませんが、何か刺激を受けたり、追い詰められたり、自分の縄張りを侵されたりすると、攻撃的な行動をとることがあります。また、単独行動を好み、必要な時以外は他のへびに近づくことはありません。

また、獲物を待ち伏せしたり、じっくりと機会を伺う忍耐強さがあります。



ボールニシキヘビ
(野毛山動物園)

独自の感覚器官

【ピット器官】

ピット器官とは、赤外線(熱)を感知する器官です。顔にあるくぼみのような器官で、全てのへびにあるわけではありません。日本に生息するへびではマムシやハブにあります。ピット器官で得た情報は、へびの脳の中で目から得た情報と重ねて処理されています。

【ヤコブソン器官】

ヤコブソン器官とは、上顎にある嗅覚器官で、空気中のにおいを感知します。舌を外に出してにおいを捉え、それをヤコブソン器官に運びます。これにより、周囲に何があるのかを感じ取ります。



唇の上の点々がピット器官。
種類によって場所が違います。



生息地

へびは非常に適応力が高い生き物で、地球上のさまざまな環境に生息しています。変温動物で、温暖な気候を好むため、極端に寒冷な地域(南極や高山の雪原など)には生息していませんが、その他の地域では広範囲にわたって生息しています。



熱帯雨林

代表的な種類

アナコンダ、ボアコンストリクター、グリーンツリーパイソンなど



草原やサバンナ

代表的な種類

ボールニシキヘビ、コブラ、ブラックマンバ、など



砂漠地帯

代表的な種類

ガラガラヘビ、パファアダー、ツソナクサリヘビなど



森林や山地

代表的な種類

アオダイショウ、ヤマカガシ、マムシなど

会いに行こう!

金沢動物園「身近ないきもの館」

金沢動物園の「身近ないきもの館」では私たちの身近に生息しているへびを含む生き物を展示しています。

身近にいても、なかなかじっくり見る機会がない生き物たちをぜひ観察しに来てください。



外観



ジムグリ



シマヘビ



アオダイショウ



モリアオガエル



ミヤコタナゴ



ミヤマクワガタ



番外編

ここに注目!チャームポイント

美しいお肌

性格・習性でも紹介していますが、へびはとてもおとなしい性格です。そのため、種類によっては、スキンシップを図れる場合があります。実際に触ってみるとツルツルスベスベ、さらにはヒンヤリとしていてとても気持ちのよい美肌の持ち主です。

模様も種類・個体により様々で大変美しいので、動物園等でぜひ観察してみてください。

愛くるしいお顔

怖くてなかなかじっくり見ることがない方も多いかもしれませんが、よく見てみると、とても愛くるしい顔をしているへびもいます。特に正面から見るとつぶらな瞳がクリっとして、まるでニコニコと笑っているかのようです。



クリクリの目とツヤツヤのお肌が魅力です。



干支の「巳」(へび)にちなんだイベント情報

よこはま動物園ズーラシア

●干支の撮影スポット

期間 12月1日(日)~1月6日(月)

場所 ころころ広場

住 旭区上白根町1175-1

☎ 045-959-1000



野毛山動物園

●干支の撮影スポット

期間 12月1日(日)~1月5日(日)

場所 野毛山動物園入園口花壇

住 西区老松町63-10

☎ 045-231-1307



金沢動物園

●干支の撮影スポット

期間 12月1日(日)~1月5日(日)

場所 身近ないきもの館周辺

●へびの紹介パネル展

金沢自然公園に生息するへびの種類や生態について紹介します。

期間 1月2日(木)~1月13日(月・祝)

場所 身近ないきもの館周辺

住 金沢区釜利谷東5-15-1

☎ 045-783-9100



横浜みどりアップ計画 [2019-2023] 5か年(2019-2023年度)の主な実績を報告します

横浜市は大都市でありながら、身近な場所に水や緑の環境があります。市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」を実施しました。令和6年度からは新たに「横浜みどりアップ計画 [2024-2028]」に取り組んでいます。

5か年(2019-2023年度)に実施した事業の主な実績

横浜みどりアップ計画は次の3本の柱で進めています。

市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 緑地保全制度による新規指定を進め、樹林地を保全しました(176.9ha)
- 市民が気軽に森の中に入り、森に親しむことができるように、園路や柵などの整備を進めました(381か所)
- 市が管理する樹林地の安全を確保しながら、緑の機能が発揮されるような森づくりを進めました(樹林地811か所、公園196か所)

市民が身近に農を感じる場をつくる

- 市内の水田面積の約9割を保全しました(111.1ha)
- 様々なニーズに合わせた農園を開設しました(19.8ha)
- 市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援を行いました(262件)

市民が実感できる緑や花をつくる

- 公共施設や保育園など、市民の身近な場所に緑を創出しました(保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出203か所)
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理を推進しました(71か所)
- 緑や花を身近に感じる各区の取組を18区で推進しました(18区)



よこはま森の助っターズ 鴨居原市民の森(緑区)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

横浜みどりアップ計画

※事業報告書は区役所などで閲覧もできます。



お問合せ先：みどり環境局戦略企画課

TEL: 045(671) 2712 FAX: 045(550) 4093
E-MAIL: mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

通信 第6回

GREEN×EXPO 2027 Village出展、花・緑出展の第一次内定者が決定!

2024年10月1日にGREEN×EXPO 2027に参画する出展者について、第一次内定発表会を行い、「Village出展」、「花・緑出展」あわせて、231件の出展者を初めて発表しました。出展者の皆様を、新しいグリーン社会の実現に向けたパートナーとしてお迎えし、「幸せを創る明日の風景」のテーマの下、開催に向けて、ともに準備を進めていきます!



第一次内定発表会に参加した出展者一同

「#withGREENEXPO」で投稿しよう!

GREEN×EXPO 2027の公式Instagramでは「#withGREENEXPO」(ハッシュタグ ウィズ グリーン エクスポ)をつけた投稿を募集しています。投稿内容は、花・緑の写真や風景、ガーデニング、ボランティア活動など、GREEN×EXPO 2027のメインテーマ「幸せを創る明日の風景」につながるものなら、なんでも自由です。投稿は公式Instagramや公式ホームページでも紹介されるかも!?皆さまのお気に入りの写真を投稿して、GREEN×EXPO 2027と一緒に応援してください!

公式X・Facebookもフォローお願いします!



Instagram



X



Facebook

基金 だより

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の皆さまの手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆さまの緑化活動を支援しています。

令和6年8月1日～令和6年10月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

有限会社コーエー環境緑化、東芝ビジネスエキスパート株式会社、コマデリ、あったかや、アジアン・キッズ、キナリノワ、有限会社相澤良牧場、アートモービル株式会社、MonaMona
個人寄付ご協力の皆様、花やぐまち助成事業利用団体の皆様、市内募金箱ご協力の皆様

令和6年10月31日までの積み立て総額は2,708,586,669円です。

区役所等に募金箱を設置しています。



基金の果実(利息)は、市民の皆さまの緑化活動に活かされています。

よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

【緑化支援内容の一例】令和5年度実績



生垣 5軒 52m



記念植樹 1本



花苗 92,785鉢、球根 20,069球、種袋 4,573袋 (のべ993団体)

●寄付金の振込先

横浜銀行本店 普通No.0381642

受取人:(公財)横浜市緑の協会

●お問合せ先

(公財)横浜市緑の協会 緑化推進課

TEL: 045-228-9470 FAX: 045-641-0821

